

最「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」オープン 最先端の宇宙物理学を道の駅で体感

3月27日（水） 神岡町 道の駅宙ドーム・神岡

世界最先端の宇宙物理学研究を分かりやすく紹介する施設「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」が3月27日、神岡町の道の駅宙ドーム・神岡内に完成し、オープニングセレモニーが行われました。

この日は、カミオカラボ入口周辺のエントランス内で、東京大学宇宙線研究所長の梶田隆章教授（飛騨市名誉市民）をはじめ、都竹市長、企業版ふるさと納税をいただいた企業代表者ら約80人が出席し、オープニングセレモニーやテープカットが行われました。

オープニングセレモニーで都竹市長は「カミオカラボで、世界に誇る神岡の宇宙物理学研究の存在を広く知っていただき、これが市民の誇りやまちの原動力に繋がってほしい」とあいさつしました。

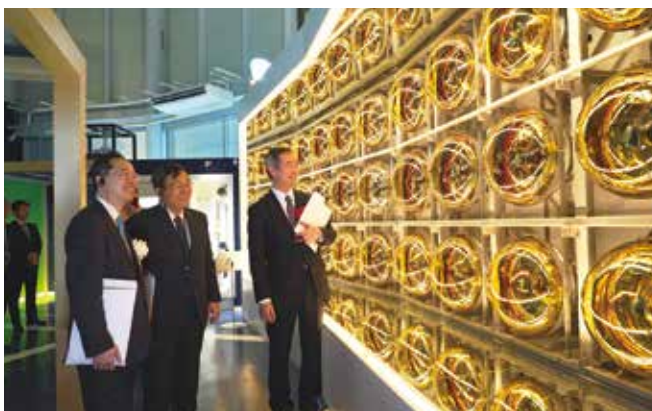
梶田教授は「カミオカラボが、飛騨市を訪れる皆さんの架け橋となることを喜んでいます。これを機会に一人でも多くの皆さんに科学に興味をもっていただきたい」とあいさつしました。

午後にはカミオカラボの一般公開が行われ、入り口付近に並んでいた約120人が、オープンと同時に大型スクリーン前に集まり、迫力のある紹介映像を鑑賞していました。

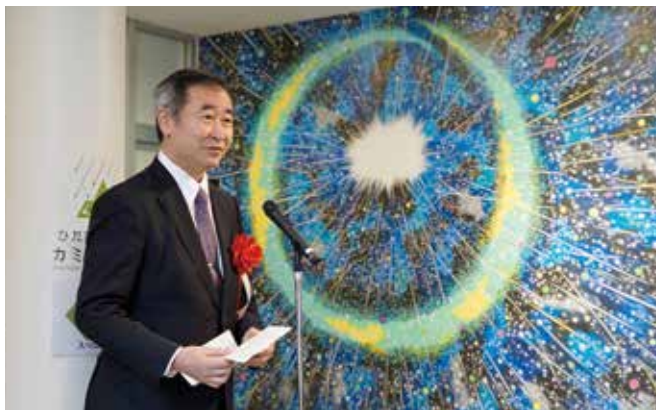
夜には、カミオカラボオープン記念講演が神岡町公民館で行われ、芥川賞作家の池澤夏樹さんが宇宙論と文学について講演しました。



テープカットを行う関係者ら



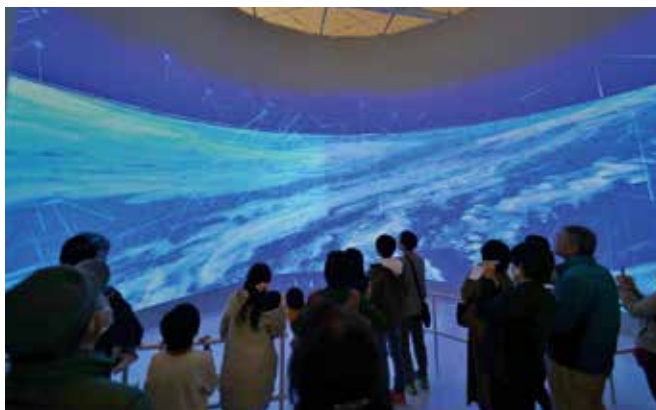
光電子増倍管の展示を眺める梶田教授ら



オープンの喜びを語る梶田教授



出席企業代表であいさつする三井金属鉱業(株)久岡一史取締役



大型スクリーン前に集まる来場者ら



宇宙論と文学について語る池澤夏樹氏

教 飛騨市教育実践研究論文表彰式 職員の研究論文をたたえる

3月1日（金） 市役所

平成30年度飛騨市教育実践研究論文表彰式が行われ、市内小中学校の教職員や市教育委員会、同事務局など約17人が出席しました。

この論文は、市内小中学校の学習習慣確立指針に基づいた授業改善等の実践に取り組んだものをまとめ、自ら応募したものです。

今年度は一般の部、新人の部（採用後6年以内）、団体の部に計10点の応募がありました。

式では、沖畑教育長から受賞者10人へ賞状が手渡されました。



賞状を手にする受賞者の皆さん

新 多機能型事業所「飛騨流葉牧場」に新施設 施設完成で作業の幅広がる

3月1日（金） 神岡町公民館・飛騨流葉牧場

障がいのある方が市の特産品「飛騨地鶏」を飼育する多機能型事業所「飛騨流葉牧場」の新しい事業所と食鳥処理施設の竣工・開所式が、神岡町公民館などで行われました。

飛騨流葉牧場は、富山市で障害者支援施設などを運営する社会福祉法人めひの野園が県の指定を受け、障がいのある方が地域で働くことができる多機能型事業所として飛騨地鶏の育成から販売などを行っています。

式典では、関係者らによるテープカットが行われ、その後、今回完成した事業所と食鳥処理施設の見学会が行われました。



テープカットを行う関係者ら

被 吉城高校写真部「南三陸ひまわりプロジェクト」 災地の痛みを忘れない

3月11日（月） 市役所、飛騨古川駅

吉城高校写真部が東日本大震災被災地の支援活動として行っている「南三陸ひまわりプロジェクト」活動として、被災地から譲り受けたヒマワリの種を市民らに配布し復興を願いました。

この活動は、東日本大震災から8年経過し「被災地の痛みを忘れない」を合言葉に、宮城県南三陸町と石巻市大川小学校から譲り受け育てたヒマワリの種を配布するもので5年前から行われています。

この日は、市役所や飛騨古川駅で、ヒマワリの種5粒とひまわりプロジェクトの案内が入った袋230個を市民や市に訪れた観光客らに配布しました。



ヒマワリの種を手渡す生徒

百 玉舎春枝さん百歳褒賞 歳おめでとうございます

3月1日（金） 古川町宮城町

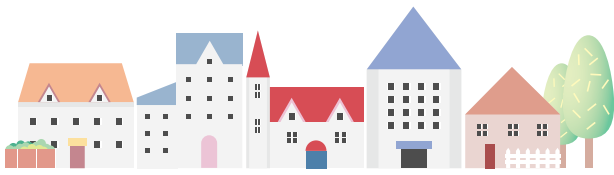
古川町宮城町の玉舎春枝さんが百歳を迎えられました。これに合わせ、湯之下副市長らが自宅へ訪問し百歳をお祝いしました。

湯之下副市長が「百歳おめでとうございます。これからも元気で長生きしてください」と声をかけながら、賞状やお祝いの花束などを手渡しました。

ご家族は「いつも元気で百歳とは思えません。病気や寝たきりにならず、これからも元気でいてもらいたいです」と話しました。



賞状を手記念撮影



飛騨市

Facebook 公式アカウント

飛騨市役所



まちの話題に掲載しきれないイベントや写真は市の公式Facebookで配信中。



飛 企業版ふるさと納税を活用し市へ寄附 騨市の大きな魅力に

3月25日（月） 市役所

飛騨農業協同組合から市へ企業版ふるさと納税を活用した寄附をいただきました。

寄附額は200万円で、市が進めている飛騨宇宙最先端科学パーク構想推進事業（ひだ宇宙科学館カミオカラボ）の整備財源に充てられます。

この日は、目録並びに感謝状贈呈式が行われ、同組合の駒屋廣行代表理事組合長と都竹市長が出席しました。

駒屋組合長は「飛騨市にはさまざまな施設や文化財などがありますが、新たにカミオカラボが加わることで今後、多くの皆さんを引きつける大きな魅力になると思います」とあいさつしました。



感謝状を手にする駒屋組合長

四 飛騨市伝承作物認定式 品目が新たに伝承作物に認定

3月12日（火） 市役所

飛騨市伝承作物認定式が行われ、「なつめ」「あずきな」「あぶらえ」「みょうが」の四品目が伝承作物として新たに認定されました。

この制度は、市内で古くから栽培されている作物を「飛騨市伝承作物」として認定し、地域の特色ある作物の風味や歴史などを伝え、情報発信をしながら、地産地消や地域振興につなげようと平成29年度からスタートしました。

認定式では、都竹市長から伝承作物認定委員に認定証が手渡されたほか、認定された伝承作物を使った料理の試食会も行われました。



認定証を手にする委員の皆さん

朝 NHK 連続テレビ小説「さくら」展 in 飛騨古川 ドラ「さくら」感動再び

3月15日（金） 古川町式之町「式之町ギャラリー」

飛騨市がメイン舞台となったNHK連続テレビ小説「さくら」の回顧展が15日、古川町式之町の「式之町ギャラリー」で始まりました。

同展は、市がNHKの協力を得て開催され、当時の撮影で使用された台本や小道具のほか、さくらを演じた高野志穂さん、脚本家田淵久美子さんらのメッセージなどが展示されています。

この日は、関係者らによるオープニング式が行われ、都竹市長、(株)NHKエンタープライズグローバル事業本部の青木信也部長、ロケにも使われた「三嶋和ろうそく店」の7代目三嶋順二さんのあいさつの後、内覧会が行われました。

都竹市長は「この作品は飛騨市にとって記念碑的な作品です。飛騨古川の知名度を高めたのはもちろんですが、それを通じて当時の古川町民または飛騨市民が誇りを持てた作品です。多くの方々にご覧いただき、作品の素晴らしさを語り継いでいってほしいと思います」とあいさつしました。

三嶋さんは「この作品のおかげで小さな町を全国に知っていただけました。大変だったけど、とても良い思い出です。これからも飛騨古川へたくさんの方々を訪れていただきたいです」とあいさつしました。



当時番組製作に携わった青木部長（左）と三嶋さん（右）



内覧会の様子